

上島町消防だより

消防救急デジタル無線及び位置情報システムについて

上島町消防本部では消防救急デジタル無線及び位置情報システムを整備し、平成26年4月1日から運用を始めました。

【消防救急デジタル無線】

今まで全国の消防本部で使用されている消防救急無線通信システムは、アナログ通信方式が使用されていました。しかし、アナログ通信方式の使用期限が平成28年5月31日までとなっていることから、上島町消防本部では、平成25年度でデジタル無線への移行の整備をしました。移行理由は、無線の秘匿性の向上による情報の保護、データ送信が可能であること、チャンネル数の増加などによるものです。

【通信指令台整備】

この位置情報システム設置により、固定電話及び携帯電話から119番通報した場合、消防署の通信台に自動的に発信位置が表示され、場所の特定ができ、出動が迅速化となります。現在、救急の要請などで消防署への通報は77-4119でされている方が多くおられます。今後は火災・救急・救助の通報については、必ず119番での通報をお願いします。



通信指令台設置状況



通信指令台運用状況



デジタル無線局舎設置状況

火災・救急・救助は 119番

※尚、携帯電話からの119番通報は、他の消防に繋がることがありますが、上島町消防署に転送されますので、電話を切らずに消防職員の指示に従って下さい

防災キャラバンin上島町を開催

～上島町の減災に向けて～

平成26年3月30日(日)13時50分～15時50分まで、せとうち交流館において、防災キャラバンin上島町と題して防災講演会を開催し、182名の参加がありました。この講演は、愛媛県並びに上島町に関係する自然災害について、愛媛大学防災情報研究センターと上島町が共催で、防災講演会を開催することにより、町民及び防災関係者の防災意識の高揚を図ることを目的と

したものです。講演会では、愛媛大学情報研究センターの講師による、「南海トラフ巨大地震の発生メカニズム」と「愛媛県の地震被害想定と上島町の減災について」の講演が行われ、災害への備えや減災を考える良い機会となりました。意見交換では、参加者の皆様から多数の質問があり、活発な防災キャラバンになりました。



～南海トラフ巨大地震の発生メカニズム～
愛媛大学防災情報研究センター
高橋 治郎 副センター長



～愛媛県の地震被害想定と上島町の減災について～
愛媛大学防災情報研究センター
二神 透 准教授



防災キャラバンの様子

平成26年度上島町

総合防災訓練のお知らせ

- 【日時】平成26年5月25日(日)7時55分～
- 【場所】上島町全域
- 【参加】上島町民・消防団員・防災士・町職員
- 【目的】南海トラフ巨大地震を想定し、住民の防災意識の高揚と災害時の迅速な対応を図ることを目的とする。

平成26年出動件数

年別	摘要	火災	救急
平成26年(3月)		0	37
平成25年(3月)		0	44
昨年比		0	+7
平成26年累計		0	119

平成26年3月31日現在